

「回復期リハビリテーション病棟における多剤併用患者に対する 減薬後の骨折リスクの評価」

臨床研究へのご協力をお願い

近年、薬の多剤併用による弊害が問題となっています。服用薬剤数が増えることで転倒や副作用の頻度が増大するという報告があります。回復期リハビリテーション病棟には転倒や骨折を起こしやすい患者さんが多いため、当院では多剤併用の見直しを行っています。しかし、入院中に服用薬剤数を減らしたことにより、退院後の転倒・骨折の頻度を低くすることができたかは明らかになっていません。そこで、当院では、回復期リハビリテーション病棟に骨折で入院された患者さんの過去の診療記録から調査を行うことにしました。服用薬剤数や服用薬の内容、転倒頻度、骨折頻度を調査し、薬を減らしたことによる効果を検討します。

本研究では、日常診療として行っている内容を振り返って検討するものであり、これにより患者さんに新たな負担が生じることはありません。患者さんの個々の情報は匿名化された状態で取り扱われます。専門の学会や学術情報誌に発表されることもあります。患者さんのプライバシーは十分に尊重されます。結果発表の際に患者さんの個人に関する情報（氏名など）が外部に公表されることは一切ありません。

ご自身のデータを研究に使わないで欲しいと希望される場合は、下記の連絡先までご連絡ください。患者さんに関するデータは削除いたします。データ利用を拒まれることで患者さんに不利益は生じません。ただし、すでに研究発表が論文などで公表されている場合には、その結果を訂正できませんのでご了承ください。

本研究に関する研究計画書および研究の方法に関する資料を入手または閲覧されたい場合は、下記の連絡先までご連絡ください。

連絡先：〒465-8620 愛知県名古屋市名東区梅森坂 5-101

国立病院機構東名古屋病院 薬剤部

研究責任者 打矢 貴子

電話番号：052-801-1151（代表）